

## まちづくり全般に関する取組検証

## 1. まちづくり全般に関する取組として検証するテーマ

人口減少にともなうまちづくりへの参加について

## 2. テーマの内容

人口減少が進む中、地域の伝統や文化を引き継ぐことが難しくなっている。まちづくり活動には、現状どのような課題があり、どのような対策がとられているのかを検証することにより、幅広い年代の市民に興味や関心を持ち、参加をしていただくことへとつなげたい。

## 3. この検証において今後期待をする効果、現状の課題を解消する方策など

- ・若者の参加の促進。
- ・まちづくり推進組織は若い担い手が不足するなど、後継者の育成という課題を抱えている。解決への糸口が探れないか。

## 【若者の参加の促進について】

⇒小・中・高校生の参加の促進を進めるとよい。

⇒チャレンジ研究室が始まった。若者が地域に対して提案をしてくれるということで、その提案に基づいて若者がいろんな形で指導してくれる、言葉を発してくれるということが地域の活性化、さらなる若者参加につながると思う。

⇒子どもに呼びかけ、その保護者にも参加してもらおうという流れがとてよいと思う。

⇒同じ町内でも各地区でそれぞれ伝統行事がある。私の地区には獅子舞があるが、獅子舞の踊り手もお囃子も子どもだけでは演者が足りない状況になっているので、親も参加している。自分の地域の子もたちだけではなく、他の地域からも子どもが参加できるようになれば、伝統文化を絶やすことなく、後世に伝えていけるのではないかなと思う。人口減少が進んではいるが、伝統文化を通じて近所付き合いや高齢者と子どもが触れ合う機会があるため、これからも大切にしていけたらよいと思う。

## 【後継者について】

⇒若者だけでなく、余力ある定年後の世代をまちづくりに取り込むことが大切なのではないか。

⇒若者だけが対象ではないと思う。熟年者や高齢者も取り込むことが大事ではないか。それぞれが得意分野を持っているはずで、活躍が期待できると思う。

⇒資源を活かすという観点から、団塊の世代で定年退職された方・される方がたくさんみえるので、そういった方々に積極的に参加をしていただくことが大事だと思う。

⇒区長会や各組の組長の推薦した方がまちづくりの委員をやることが多いと思うが、自主的に参加してくれる方が増えるとよいと思う。小・中・高校生の参加を軸とした事業を立案して、子どもたちと若い保護者をまちづくりに取り込んでいけたらよいと思う。

⇒力を余している定年後の世代が葛藤していると思うので、こういう場で、その世代の方が活躍できる機会があればよいと思う。私の住む地区には、伝統的な御神輿の文化があるが、担い手がおらず、区長さんたちが大変な思いをしているのを感じる。それぞれの地区の伝統文化を守るための呼びかけや、教室の開催をするなど、他の地区からも子どもを呼びこむといったような取組を試みるのもよいと思う。

## 【期待すること・感じることなど】

⇒地域の絆が薄れていると感じている。昔は、隣や近所同士で情報交換をするというような場があったが、今はそういう場が非常に少ないと思う。昔のような古き良き時代の絆を深めていくためには、地域の行事や会議に皆が参加することから始めていくこと、近所同士が声をかけあって出かけていくことが必要だと思う。

⇒瑞浪市は他の市町村と比べてときに、すごく魅力的な市だと感じる。その魅力を活かしながらまちづくりを進めていくことが人口減少対策においても重要だと思う。

⇒瑞浪市が「何を売りにしてまちづくりを進めていくか」ということを明確にすることが大事なのではないか。

⇒「まちづくり」とは、何をもちまちづくりとするのか。各地区には特徴があり、考え方が違うと思う。それぞれの地区がビジョンを持つことが大切なのではないか。現状では明確なビジョンがないため、若者も女性も何をしたらよいかわからずに参加がしにくく、どうしたらよいのかアイデアも湧いてこないのと思う。ビジョンについては、例えば、「地産地消のできるまちづくり」、「豊かに暮らせるまちづくり」、「文化の豊かなまちづくり」など、いろいろあると思うが、どこがそのビジョンを打ち出すのか主体が決まられていないし、それを誰に言えばよいかわからない。まちづくり全体がぼんやりしてしまっているのではないかと感じている。それぞれの地区の個性に則ったまちづくりを進めていくことが必要だと思う。

## 【考え方・アプローチの手法など】

⇒各論的な部分と総論的な部分を分ける必要がある。まちづくりというのは最小限度のところから始めればよいのと思う。各地域の一部でもよいので特色が出てくると、これが特徴なのということになる。これがもしかすると瑞浪市全体の特徴になるかもしれない。大きく考えるより、それぞれがどうやって特徴を出していくのか、その集合体が「まちづくり」であると思う。瑞浪全体で考えるより、各々のブロック単位で考えていくことが必要だと思う。

⇒「まちづくり」を進める上で、まず重要になってくるのはマーケティングだと思う。瑞浪市では何の需要があるのかを調べていくことが大事である。そのために定期的にマーケティングの専門家と呼ぶことが必要になってくると思う。各世代において需要は変わってくるかと思う。お金を落とすという意味では、比較的に高齢者の方がお金を持ってみえるので、そのあたりをどうターゲットにしていくのか。また、若者が瑞浪市のどこに注目しているのかを理解しておく、若い人の発想から広げていくことができると思う。

⇒まちづくりの発展として欠かせないのが、「自然」・「健康」・「食事」の3つになる。都会の人は自然にあこがれがあるため、自然をどのように活かすか。健康がブームであるため、自転車が走れる、マラソンができるなど健康に着目するのもポイントになると思う。食事は人を集めるポイントになるのでB級グルメがあるなど、うまく発展させていく必要がある。これから重要になるのは、若者を含めた各世代を、いかに連携させていくかということ。このジョイントが行政の役目だと思う。

う。例えば、瑞浪市内には大学があるので実習の場も兼ねて、介護や子育ての場に学生が関与するというのもよいと思う。逆に経験がある高齢者が若者に教えるということも重要ですので、そういう場の提供を行政がしていく必要があると思う。その中で特に重要なのは、キーとなる人材の発掘になる。小・中・高・大学生のまちづくりへの参加を持続させてくれる教員の発掘が大事。児童・生徒・学生は、単発で参加しても、持続して参加することは難しくなりがち。教員、PTAなど、いかにキーとなる人材を発掘し、活用していくかが重要になる。若者の意見を取り入れる方法としては、色んな世代を巻き込んだワールドカフェという手法もよいと思う。

#### 4. 市民、議会及び行政の協働のまちづくりにおける役割と責務

(市民の役割、できることなど)

・瑞浪市内には、いろんな所にいろんなものがあるにも関わらず、市民の方でも行ったことがない所があるのではないかと思う。市民の役割、できることとしては、そういった所に行き、よい所を知ることだと思う。

⇒**瑞浪市のよい所を市民の皆さんが知ること**

・(文化財もそうですが、)文化財のことをよく知っているなど、知識のある高齢者の方がたくさんみえるが、市民全体がそういった「人の資源」を知らないと思う。もっとうまく活かしたらよいと思う。

⇒**情報発信、効率化を図ること(資源を活かすこと=人材育成)**

(議会の役割、やってほしいことなど)

・整備するにも何をするにしてもお金が必要。行政や議会の役割としては、より多くの予算をとってほしい。

⇒**予算の確保**

(行政の役割、やるべきことなど)

・整備するにも何をするにしてもお金が必要。行政や議会の役割としては、より多くの予算をとってほしい。

⇒**予算の確保**

・広報だけではなく、フェイスブックなどの SNS を利用して、人の資源も活用できるシステムがあればよいと思う。

・フェイスブックなど SNS は若者参加にもつながると思うので、ぜひ最優先でお願いしたい。

・市の職員の中でマニアックな人がいると一番よい。特色とは、自分の所のないものを見たいということになる。マニアがマニアックなものを出し続けることにより、それがマニアに広がり、やがて一般に広がることになる。どこにでもあるものではないマニアックなものを掘り下げることが、注目を浴びることにつながる。広報みずなみ、ホームページ以外の情報発信の仕方を考えていくことが課題だと思う。

⇒**情報発信の工夫**

#### 5. 考えられる市民の参画方法

(例)①市民は地域にこだわらず、各地域の行事にも参加して輪を広げていく。【後継者・担い手不足】

②子育て世代・ママ友で口コミにより情報発信をする。【子ども・若者】

③自分の地域のまちづくり推進組織に対し、事業提案や意見を出していく。【興味や関心を持つ】

④子ども会で子どもが行事の宣伝ポスターを作る。各種団体は、公民館や掲示板に飾るなど活用して、町民の参加を募る。【子ども・後継者】

#### 6. 子ども及び若者の参加への配慮

(例)①若者には気恥ずかしさが付いて回ることがあるため、周りの大人が声をかけて参加しやすい雰囲気をつくってあげる。

②保護者の同伴なしでも友達同士で気軽に参加できる場の運営。近所に行事に参加したいのに、保護者が同伴できないために参加ができない子どもがいれば声掛けをして、地域で見守り、一緒に参加をしてあげる。

③子どもや交通弱者を会場まで運ぶサービスの確保。

④若者夫婦も楽しめるように、主催者が一時託児所のようなコーナーを設営する。

#### 7. その他